

フィンドレー大学 文化政策学部国際文化学科 3年生 田口実里

あっという間に9月が終わりました。1か月が経って英語に少しずつ慣れ、新しい友達に出会い、たくさんの思い出ができた濃い一か月でした。

9月4日

休日に友達とコロンバスに行って、味噌ラーメンを食べました。日本の味にそっくりだったけれど、やっぱり日本で食べる日本食が一番おいしいです。一蘭食べたい…。コロンバスには、街並みのような綺麗で大きなショッピング街があり、ディズニーシーのアメリカンウォーターフロントを歩いている気分になりました。歩くだけでもとっても楽しかった！



9月8日

Wintergarden Park というフィンドレーの森林探索ができるプログラムに参加し、ハイキングをしながら自然や野生の動物に出会いました。フィンドレーは本当に自然豊かなので、自然が大好きな私にとっては最高でした。同じ日に近くの高校のアメフトの試合を観に行きました。その高校のアメフトがとにかく強かったのとマーチングバンドもすごく上手だったので大興奮、大歓声でした。このプログラムは無料で参加できるので、ぜひ参加してみてください。



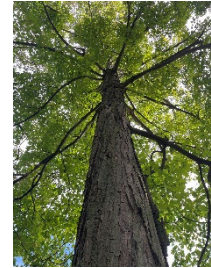
9月10日

Cedar Point という有名な遊園地に行きました。絶叫アトラクションが10個以上あるので絶叫好きにはたまりません。待ち時間が3分くらいしかないので、全部乗れます。一日でこんなに絶叫アトラクションに乗れた日はこの日が初めてでした。絶叫が苦手だった友達も絶叫好きになっていたほどです(笑) 45ドルを払えば、誰でも行けるのでぜひ行ってみたいですね。



9月15日

リーダーシップ研修に参加し、学校から約3時間かけた場所にある Punderson State Park という自然豊かな素敵な建物で研修を受けました。「自分の強みを理解し、どのように伸ばしていくか」というテーマでしたが講師の方の英語が難しく聞き取るだけでも必死で、話の内容を全て理解しきれなかったのが本当に悔しかったです。研修内容自体は学生同士の関わりが多く、自分の強みや今期の目標などについてペアで共有し合ったり、夜には友達の家でみんなとマフィアゲームをしたりして人との距離がよりグッと近づいた3日間でした。この研修で初めて出会った人も多くいます。40人ほど参加していました。



9月23日

ネイティブの友達と日本人の友達と一緒にダウンタウンにあるカフェに行きました。ここのホットチョコレートがとってもおいしかった！！アメリカ人はハロウィンが本当に好きなのだそうで、1か月以上前からデコレーションを始めていて住宅やお店もハロウィン仕様になっているのでとてもかわいいです。イベントを全力で楽しむ心が素敵だなと思います。私はこのお店でガラスのコップを買いました。



授業について

個人的に Reading の授業がとても難しいです。Why? をたくさん聞かれるので、自分の考えを必ず持つ必要があるし、それを英語で話すこと、クラスのスピードに合わせて読解を進めていくことが個人的に厳しい時があります。ですが、自分の考えを持つこと、「なぜ？」を考えること、周りの意見に耳を傾けて自分とはちがう意見を尊重すること、英語で気持ちを話すことなどはとてもいい経験になっていると強く感じます。特に、海外の人たちと会話をするとき以前よりもすらすらと英語が出るようになってきたり、毎晩つけている英文の日記でボキャブラリーが増えてきたりしているように感じます。難しいと感じるということは、そこが鍛えられつつある証拠なので、諦めることなく突き進んでいきたいです。

日常について

わたしはアメリカに来て、人といることがもっと好きになりました。ここの大学の学生や先生、フィンドレーに住んでいる人たちは日本人にはない優しさとあたたかさを持っている人が多く、周りの友達もはっきりと自分の気持ちを伝えてくれるので私も以前より自己主張ができるようになりました。そのおかげで人間関係においておだな気を使わなくてもよくなって、もっといろんな人と関わってみたい気持ちも生まれてきました。日本にいた時は、大学が終わったらすぐに帰宅して休みの日はバイトに行くという刺激のない変わらない日々を送っていたけれど、アメリカに来てから色々なプログラムに参加して新しい出会いが増え、一期一会を感じています。